

Guidance of Urban Design Laboratory for 4th Grade Students

2023 卒業制作／論文 対象者向け 都市デザイン研究室説明会

① 4/11火 ② 4/14金 ③ 4/19水 12:20 - 12:50

対面▼

14号館9F
906号室集合

オンライン▼

Zoom：右QRコード
※飛び込み参加歓迎



※上記日程以外や個別相談はお問合せ下さい。
※問合せ先:nagano@ud.t.u-tokyo.ac.jp



【 過去の主な卒業制作／論文 】

●：学会等出展作品、受賞論文・作品

≫ 論文

- 「『農住都市構想とその地域的展開に関する研究—柿生地域農村住宅団地建設基本構想に着目して—』」：一楽照雄の農住都市構想からの展開を調査。
- 「軍港都市における観光の実態と変容—戦前と現代の呉市の『軍港観光』に着目して—」：軍港観光の変遷をもとに軍港と市街地の関係性強化を提案。
- 「多摩田園都市開発における非駅前拠点計画の変遷と現状」：田園都市開発の計画史を調査し、非駅前拠点“ピレジ”等の構想意図と以後の変遷を分析。
- 「アートイベントを契機とした地域社会と都市空間の変化に関する研究」：東神田・日本橋馬喰町界隈のエリアリノベーションの変遷を調査。
- 「都市構成要素の更新周期差の研究—「シモキタらしさ」を捉える—」：店舗流動の激しい街を「更新周期」という独自の視点を用いて表現、考察。

≫ 制作

- 「『沁透街巷』—台湾台南市における都市空間の漸進的更新設計』」：台南の空間構造に着目して、その生活空間の向上による都市更新を提案。
- 「『包み、和える。—博多の食がつむぐ包容と調和のコモンズ』」：博多の禅寺町の歴史的文脈を読み解き、食を介して多国籍性が共存する交流空間を提案。
- 「マチナカホワイエ 文化団楽の街・吉祥寺」：公会堂建替を街全体での分散型プロジェクトに置き換え、高架下や公共空間を生かした文化界隈を創出。
- 「奈良山の辺、千年の巡り-石上神宮外苑・天理教徒墓苑-」：天理教墓苑と神道外苑という異なる宗教性の場を、木材循環を介して共存させる提案。
- 「小高環境観測所-複合被災地における持続可能な生活圏にむけて-」：原発被災流域のもり・さと・まち・うみの4環境を観察・再生する拠点群。

都市デザイン研究室は常に実空間を意識して保全・継承・創造に取り組めます。都市部・地方都市・集落、時には海外も含め全ての都市形態にアプローチします。あらゆる都市空間は歴史の産物であり意味・意図・意思の蓄積があります。その洞察には、まちに飛び込むことが重要です。フィールドワーク・ヒアリング・ワークショップ・社会実験を行い、集めた図面や文献を都市空間と照らし合わせ、まちの個性のルーツを探ることで、守るべきもの・変わりつつあるもの・創っていくべきものを都市空間から教わるのです。私達はこれを、都市空間の「構想力」と呼んでいます。この「構想力」にデザイナーの経験と「創造力」を加え、市民・行政・企業・専門家の全員が共有できる都市ビジョンを発信することを目指します。そういった実践を理論化し、積み上げ、手法化するデザイン論の確立も重要な役割です。

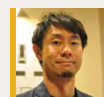
自主性を重んじる我々は、研究テーマの設定を学生各位の関心に委ねます。右に示す過去の研究テーマはあくまで参考です。自身が納得のいくテーマを探り当てるところから、都市デザイナーの第一歩として卒業制作・卒業論文をまとめあげるところまで、共に走り切ってくれる学生を歓迎します。



准教授

中島直人 NAOTO NAKAJIMA

≫ 都市デザイン、都市計画史、都市論



助教

永野真義 MASAYOSHI NAGANO

≫ 都市デザイン、建築設計



特任助教

青木公隆 KIMITAKA AOKI

≫ 建築設計、エリア再生

